

ぶん らく 文楽 って、おもしろい？

～そんな疑問にお答えします～

Q 伝統芸能の良さがよくわかりません。

A 伝統芸能とは、日本で昔から行われてきた芸能のことです。歌舞伎・能・狂言などにはじまり、様々なものがあります。時間や流行に消費されてしまうことのないしなやかな力で、人々を魅了し続けてきました。こうした伝統芸能に触れることで、現代に生きる私たちの感性や想像力も、きっと刺激されること間違いなしです。中でも文楽は、物語を語る声、楽器（三味線）の音、操られた人形の動き、という3種類の「技」を同時に堪能できる、とても豊かで贅沢な芸能です。実際に目の当たりにすると、五感に訴えかけてくるパワーを感じ、うっとりしますよ。また、文楽は大阪で生まれ、育まれてきた芸能。同じ関西生まれとして、ぜひ一度触れてみて欲しい！

Q どうやって観たらいいのかわからないし…それに、こどもには難しいかも？

A 難しく考えず、まずは感じてみてください。たとえば、人形劇のひとつと違って観てみてはどうでしょう。また、文楽は「声・音・動き」とシンプルな要素でできており、見て、聴いて、想像しやすいので、自分なりにいろいろな楽しみ方ができます。おとなももちろんですが、想像力豊かな世界に生きている子ども達は、意外とすっとはまるかも。

Q 興味はあるけど、いきなり文楽劇場に行くのは敷居が高くて…

A ぜひ今回、こども文化センターでみてみてください！解説と実演があるので、はじめての方でも楽しめますよ！

Q 実演するのはどんなおはなし？

A 「本朝廿四孝～奥庭狐火の段～」を上演します。ある武家のお姫さまが、恋する人の危機を救いたい一心で、湖をかけわたるファンタジックな演出が楽しい、有名な作品です。みなさんが良く知っているあの動物もできますよ。（何の動物かな？ヒントはこのチラシにもあるよ。正解は、当日、劇場で！）

出演者プロフィール

豊竹呂勢大(太夫)

昭和54年、四代鶴澤重造に師事。昭和59年、五代竹本南太夫入門、竹本南太夫と名乗る。昭和60年、五代豊竹呂大の門下となる。昭和63年豊竹呂勢大と改名。平成12年、八代豊竹嶋大の門下となる。平成12年、咲くやこの花賞受賞。平成15年大阪舞台芸術奨励賞受賞。平成16年、第23回国立劇場文楽賞奨励賞受賞。

鶴澤藤蔵(三味線)

昭和51年、十代竹澤弥七に入門、研究生となり、祖父の前名鶴澤清二郎を名乗る。昭和53年、鶴澤清治門下となる。昭和58年、文楽座で初舞台。平成23年、二代目鶴澤藤蔵を襲名。平成9年、大阪舞台芸術奨励賞受賞。平成15年、大阪文化祭奨励賞受賞。平成16年、咲くやこの花賞受賞。平成23年、第31回伝統文化ボーラ賞受賞。

吉田一輔(人形遣い)

昭和44年生まれ。昭和58年、父・桐竹一輔に入門、桐竹一輔と名乗る。昭和60年、国立文楽劇場で初舞台。平成16年、三代吉田賛助門下となり、吉田姓を名乗る。平成17年、第33回文楽協会賞受賞。平成19年、因協会奨励賞受賞。平成21年、国立劇場文楽賞奨励賞受賞。平成22年咲くやこの花賞(演劇・舞踊部門)を受賞。同年、大阪文化祭奨励賞受賞。



公演情報

日時 2013年 3月24日(日)
14:00開演 (開場13:30) ※休憩あり

対象 小学生以上どなたでも
(未就学児は申込できません)

- 4月から小学生の場合はOK
- ※中学生未満はおとな同伴でご鑑賞ください。
- ※おとなだけの申込可。

入場料 こども(小学生・中学生) 500円 おとな 1,000円

※申込後お送りする受付完了通知を持参のうえ、当日、会場にてお支払ください。

一時保育 1歳半以上の未就学児

<申込締切>開催日の1週間前(3/17)

希望者は申込時に対象児の名前・年齢を明記。おひとり100円(当日支払)

※お申込された方へは後日申込書をお送りします。 ※1歳未満はお預かりできません。



申込方法

『こども劇場』は、事前にお申込みが必要です。次のいずれかの方法でお申し込みください。先着順に受け付け、「受付完了通知」をお送りします。

入場料は、「受付完了通知」を持参のうえ、当日受付にてお支払いください。

※申込み方法に関わらず、車イス席希望の方はその旨ご明記ください。

① 往復ハガキ・FAX (送り先は下記をご覧ください)

- 記載事項**
- ① イベント名「3/24 はじめての文楽のせかい」
 - ② 来場希望人数・お子さまの新学期(おとなのみの場合はその旨記入)

- ③ 代表者の住所・氏名(ふりがな)・電話/FAX番号
- ④ 一時保育希望者は対象児の名前と年齢

② インターネット

いちようネット(<http://www.manabi.city.osaka.jp/>)へアクセス→「講座・イベント情報」をクリック→キーワードに「こども劇場」と入力→イベント情報ページより申込

③ こども文化センター1階受付にて直接申込(開館時間中受付)

申込締切 先着順に受け付け、定員(434名)になり次第締切

※お申し込みの際に伺った個人情報、当事業に関する連絡や今後の企画の参考のためにのみ使用し、事業終了後は一定の期間を経たのち廃棄処分いたします。

開催場所
申込み先

大阪市立こども文化センター

指定管理者: (財)大阪市教育振興公社・SPS[サントリーパブリシティサービス(株)]共同事業体

〒550-0014 大阪市西区北堀江4-2-9 TEL.06-6531-5975/FAX.06-6531-1679

ホームページ/<http://www.ko-bun.jp>

開館時間/9:00~21:30 休館日/月曜日(国民の休日の場合は、直後の平日)

最寄駅/大阪市営地下鉄 千日前線「西長堀」駅7号出口すぐ

長堀鶴見緑地線「西長堀」駅3号出口徒歩3分

モバイル専用ではありませんが、センターのホームページは携帯からもご覧いただけます！
(一部機種を除く)



※駐車場・駐輪場はありません。

ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

- 中央図書館北隣 ●地下鉄出口から近く小さなお子さま連れでも安心です。
- ベビーカーや車いすでお越しいただく場合は、エレベーターのある7号出口をご利用ください。
- 荷物のクロークはございません(ベビーカーは受付でお預かりいたします)。

こども文化センターではホールや他の部屋をお貸ししています。どうぞご利用ください。